



仙高の風

令和4年9月21日発行 第6号

巨大アートを制作する実行委員と有志諸君



第75回仙高祭

第75回仙高祭開催

9月2・3日、「SENKO×FAMILY～裏の顔は盛り上げ上手！～」をテーマに第75回仙高祭を開催しました。文化部や各学年における総合的な探究の時間の発表・展示を中心に、3年生クラス模擬店など生徒が主体となり仙高祭を盛り上げました。感染症対策の観点から制限があるなかでも、生徒達は様々な工夫をしながら取り組み仙高祭を成功へと導きました。

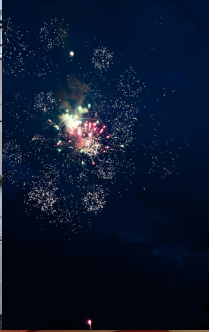
3年ぶりの前夜祭花火↓



表紙デザイン：2年 遠藤 夏紀



岩井誠校長が巨大アートに!!

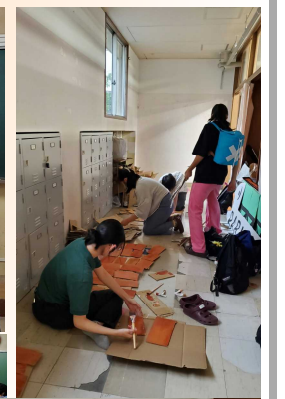


「仙高祭を終えて」

仙高祭実行委員長 山本伊織さん(3年)に聞きました。Q実行委員長に手を挙げた理由は何ですか? 「自分の中に思い描く将来像があって、それは“社会のリーダーとして未来の人材を育てる”というものです。その経験のためにも立候補しました。」Q今年度新たな企画はありましたか? 「黒板アートです。委員会の中から提案があった企画でした。学年縦割りで装飾教室の黒板に描かれた絵です。立ち寄った方々に視覚的に楽しんでいただけたと思います。」Q本当はやってみたかった企画はありますか? 「有志特技披露に先生方に参加してもらい、そこで意外な一面を見せていただけたらとても面白い企画になったと思います。」来年にメッセージをお願いします。「この仙高祭は真剣なことも遊び心も全力でやっていけるイベントです。是非自分の色を発揮してほしいです。また、今回の仙高祭で見られた光景(コスプレ、展示、模擬店など)は継承して、更に様々なアイデアを出してほしいです。」



～仙高祭準備風景～

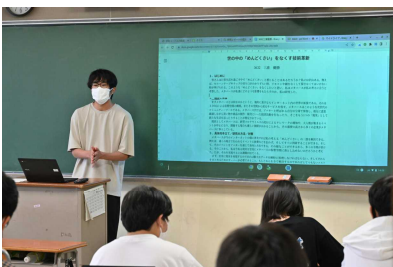


◆「国際理解教育講演会」を開催しました。



9/15、本校フェニックス(キャリア)プランの一環として、国際理解教育を実施しました。外務省から大臣官房・G7広島サミット事務局課長補佐の伏木光英様をお迎えしてご講演いただきました。野球に熱中されていた高校時代や、大学卒業後のフランス留学、民間企業に務められた後、大学院でキャリアアップされたお話、外務省に入省後は、フランスやアルジェリアの日本大使館で勤務され、その経験を踏まえ、異文化理解とコミュニケーションの大切さや外交官の仕事の魅力などをお話頂きました。復興庁にもご勤務されたことがあり東北にもゆかりのある伏木様は、「他者を敬う気持ち、自分本位ではなく、まずは相手の立場に立って物事を考える力が大切」「外国語を話すにも日本語以上にはならない。本も沢山読みましょう。」など全校生徒にたくさんのメッセージを頂きました。また、講演後、3年生24名が伏木さんとの座談会に臨み、「子供と関わる仕事をしたいと考えていますが、日本と外国の教育の違いは何でしょうか？」など、多くの質問に、一つ一つ丁寧に答えて頂き大変有意義な時間となりました。

◆3学年「研究レポート発表会」を実施



9/8、6・7校時に研究レポート発表会(全体会)を行いました。1年次PHOENIXゼミ、2年次ホームルーム研修旅行そして3年次は研究レポートと3年間を通して行ってきた総合的な探究の時間の総括として生徒たちが発表に臨みました。この時間は毎日行われたクラス内発表の中で選出された代表者が発表を行い、社会におけるあらゆる問題に対し、SDGsの観点から、データの収集・分析を行い、問題解決に向けた考察をまとめました。どれもすばらしい発表となりました。

◆ICT環境の整備を進めています!



8月、全ての普通教室にプロジェクターが設置され、スライドや動画などを黒板に簡易的に映すことができるようになりました。来年度は生徒一人一台にタブレットが貸与される予定となっています。←地理の授業で地球の写真を黒板に映している様子

◆全国のALTとオンラインでつなぎ英語の授業



ALT(外国語指導助手)派遣事業を行っている株式会社ハートコーポレーションの支援を受け、全国のALT9名と教室にいる英語科青野一真教諭による「オンラインブレンディッド授業」を行いました。←英会話を楽しむ生徒たち

◆第7回高校生万葉短歌バトルin高岡で初優勝!

文芸部が高校短歌日本一を決める大会で見事初優勝しました。8/27、本校文芸部3名はチーム「鵬翼(ほうよく)」として出場。見事予選を勝ち抜いて本戦に駒を進めた後、全国8チームによるトーナメント戦も制して、初出場ながら初優勝しました。“若々しい素直さ”が評価されました。

第7回 高校生万葉短歌バトル in 高岡



←北日本新聞(富山県)に取り上げられました。左から佐々木遥奈さん、菅本勇馬さん、阿部優さん

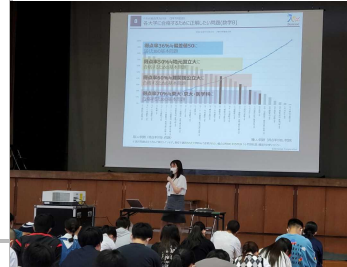
◆夏季休業中のボランティア活動



写真提供:スポーツコミッションせんだい事務局

夏季休業中、「2022夏のボランティア体験会」に56名、「中高生スポーツボランティア育成講座」に15名と、多くの生徒が自主的にボランティアに参加しました!他校の生徒さんや、年代の違うボランティアの方々とも交流し、体験後のレポートには「コミュニケーションの大切さを感じた」「ありがとうといわれて嬉しかった」「これからもボランティアを続けていきたい」など体験から得られた学びについて振り返っていました。

◆模試分析会が行われ1・2年生が参加しました。



9/8、ベネッセコーポレーションの横田麻夏様から、模試の結果を踏まえながら、その活用方法や普段の授業参加の仕方などについてお話頂きました。「基礎力を積み上げることがとても重要」と両学年にアドバイスされました。

◆希望のヒマワリ 今年も咲きました。東日本大震災



のあったあの年、全国の皆様方からたくさんの支援と応援メッセージをいただきました。そして沖繩の小学生家族から届けられたのは「ヒマワリの種」でした。以来、仙高生は大切に植え続け、今年も9月上旬、満開となりました。あれから11年半。これからもずっと絶やすことなく育て続けます。



仙台市青葉区国見 6-52-1
担当:主幹教諭 板橋俊文
Tel 022-271-4471
Fax 022-271-1136
URL <http://www.sendai-c.ed.jp/~sendaihs/>